



昭和大学病院

検索



昭和大学病院附属東病院

検索



発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者 昭和大学病院長 板橋 家頭夫
編集責任者 広報委員長 中村 清吾
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
TEL : 03-3784-8000 (代表)

呼吸器センター センター長就任のご挨拶

昭和大学病院 呼吸器・アレルギー内科 教授 相良 博典

この度、4月1日付で呼吸器センター長を拝命いたしました。これまでの歴史を引継ぎ、更なる発展を目指して、ここに抱負を述べさせていただきます。

これからの呼吸器センターが理想とするのは、改めて、医療を患者さんの側から定義し、患者さん一人ひとりのための医療を提供する事です。すでに、医療とは、単に高度で専門的なスキルの集合体ではありません。多くの患者さんは、「喘息専門医に会いたい」とか「感染症を診てもらいたい」とは言いません。「息が苦しい」、「胸が痛い」、あるいは「なんとなく具合が悪い」と言います。病院は、専門家を集めるだけではもはや不十分であり、患者さんの立場からその在り方を定義することが求められ、それを具体化していく役割が呼吸器センターにあると考えています。

呼吸器疾患における病態に関する遺伝子レベルでの解析は日進月歩であります。治療法においても生物学的製剤、分子標的薬などの様々な治療が日常臨床でその効果を発揮し、また、今後、われわれはさらに新たな選択肢を手に入れようとしています。

それらを可能にしたのは Evidence Based Medicine (EBM)であり、さらには、Experienced Based Medicine ともいうべき、「経験知」であります。患者さんから学ぶということ、それらの知を総動員することで、どの医師がつかっても、患者が誰であっても、ほぼ同様の効果が望める地平

を切り拓きつつあります。

しかしながら、疾患には、未だもうひとつの側面があるといえましょう。それは、個々の患者さん、個別の病態がどうであるか、患者さん一人ひとりが病気を持っていることにどう向き合うか、どういう習慣を持ち、どういう生活を望んでいるかによって、期待できる治療効果が変わってくるということです。EBMは、「急性疾患」には極めて有効ですが、呼吸器疾患のような「病む人個人」が主役であり、かつ多様な変化を示す「慢性疾患」では扱いきれないのではないかと考えられます。その場においては、医療従事者の「経験知」と「経験値」、そして、病む人との個別で一時的な関係性が重要な役割を果たすからです。

このような観点から、呼吸器疾患を持つ人の治療に関わる医療従事者は、病を持つ人の「現実」あるいは「複雑系」を総合して俯瞰し、捉えていく必要があると考えられます。それは、決してたやすいことではありません。そこには、専門家自身のたゆまぬ訓練と、チーム医療によって実現される集合的な臨床の知恵が必要であろうと思います。呼吸器センターの更なる発展を目指し、力を尽くしたいと思います。



内視鏡センターでは、最新式の高画質拡大内視鏡を導入し、上部・下部消化管検査を行っています。最新式内視鏡は高性能で操作性の向上が図られ、患者さんの苦痛が軽減されるようになっています。その上、高画質の内視鏡でNBI観察、色素観察、拡大内視鏡観察により、より精密な診断を行っています。

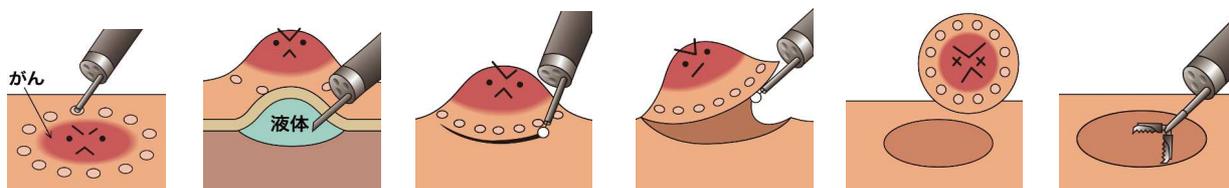
診療体制

最新の内視鏡を使い、従来では見つけにくい微小な早期癌を見つけ、EMR（内視鏡的粘膜切除術）やESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を食道・胃・大腸で積極的に行っています。救急医療の中核病院として出血性消化性潰瘍、悪性腫瘍からの出血、食道・胃静脈瘤破裂などの消化管出血に対しても24時間対応可能な内視鏡体制を整えています。小腸疾患の診断に有用なカプセル内視鏡を、今年度最新式のPillcamSB3に更新いたしました。カプセル内視鏡で診断し、小腸内視鏡で精査・加療も可能となっています。

特徴的な治療領域

・ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）

ESDとは早期癌に対して内視鏡的に一括切除を行う治療です。具体的には消化管の構造(胃、大腸)は粘膜、粘膜筋板、粘膜下層、固有筋層、漿膜の5層構造になっており、癌の進行が粘膜下層までに留まっている場合は、内視鏡的に粘膜下層を筋層より剥離し切除します。当院では食道、胃、大腸に対して幅広くESDを施行しています。(下記図：治療イメージ)



がんをマキグ → 液体を注入 → 切開 → 粘膜下層の剥離 → 切除 → 止血

・拡大内視鏡

近点から遠景まで、粘膜の表面構造まで高精細な画像で観察可能となり、さらに拡大機能を用いての観察では血管構造や腺管開口部なども詳細に認識することができます。患者さんへ高精度画像によるピットパターン診断などを実施し、今後の治療方針の的確なアドバイが可能となっています。

・EUS-FNA（超音波内視鏡下穿刺吸引法）

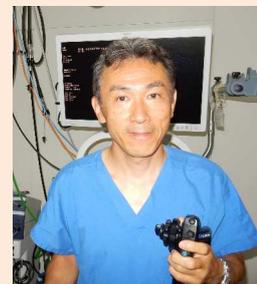
超音波（エコー）装置をともなった内視鏡で、消化管の中から消化管壁や周囲組織・臓器などの診断を行う検査です。この検査も胃カメラと同じく口から内視鏡を挿入し、通常の胃カメラでは消化管の表面しか見ることが出来ませんが、超音波を用いることにより組織の内部の観察が可能となります。主に膵臓・胆道(胆のう、胆管)疾患に精密検査として用い、組織学的な検査が必要な場合に実施します。

内視鏡センター センター長：山村 冬彦 (Yamamura Fuyuhiko)

趣味：スキー、テニス、旅行、読書

内視鏡センターの内視鏡はすべて高画質の拡大内視鏡に変更いたしました。これにより最新の内視鏡診断・治療が可能となっています。また、近隣の先生方と情報交換をしつつ、更なるレベルアップを図りたいと思います。

大学病院としての地域の要請に応え、患者さんの満足度の高い内視鏡センターを目指しますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



アレルギーの正確な診断、幅広い治療により健やかな毎日を

小児アレルギー外来の特徴

小児アレルギー外来では、小児のアレルギー疾患を幅広く診療しております。特に食物アレルギー診療は知名度、診療規模ともに国内有数の診療施設です。それ以外にも、重症ぜん息やアトピー性皮膚炎等、あらゆる小児のアレルギー疾患を近隣の医療機関から幅広く受け入れています。

また、ぜん息発作、アナフィラキシーショックなどの緊急時対応も行っています。

食物アレルギー

「食事」は我々の生活の基礎であり、これが障害されることは、お子さんならびに保護者の方に多くの負担が強いられます。食物アレルギー診療は最近 15 年で劇的な進歩を遂げています。そのなかで、患者さんの負担は大きく軽減され、治癒への積極的な取組が行われ始めています。

当外来では、国内最大規模で食物経口負荷試験を実施し、また先進施設でのみ行われている緩徐経口免疫療法も行っています。さらに栄養科と連携し、食物アレルギーのトータルケアを目指しています。正しい診断と生活の質の改善、そして食物アレルギーの治癒のためにも、当外来にご相談ください。



アトピー性皮膚炎

ガイドラインに基づいて、ステロイド軟膏・タクロリムス軟膏等を使用します。アトピー性皮膚炎は適切な治療管理を行うことで、極めて良好に管理が可能です。なかなか湿疹の管理が安定しない場合は、一度ご相談いただくことをお勧めします。

気管支喘息

ステロイド吸入薬等の普及により、劇的に軽症化したぜん息ですが、我々はガイドラインに基づいて、治癒を目指した診療を心がけています。また最近は生物学的製剤という重症者向けの治療薬も使用できるようになりました。日常的に発作に悩まされている方は、一度ご相談いただくことをお勧めします。

など

外来担当医

専門研修を終えた日本アレルギー学会認定アレルギー専門医（小児科）が担当しています。



今井 孝成医師



神谷 太郎医師



長濱 隆明医師



清水 麻由医師

受診の手続き

- ◆アレルギー初診外来日：毎週水曜日 午前、アレルギー外来日：毎週月・水曜日 午後
- ◆アレルギー外来をご希望される患者さんは、「かかりつけ医」からの紹介状が必要です。ご予約は、医療連携室（03-3784-8400）へお電話いただき、ご予約をお取りください。

知りたい!!教えて○○のこと

「内視鏡の鎮痛薬・鎮静薬について」

内視鏡検査を受けるとき「痛いかな・・・」、「検査の間耐えられるかな・・・」、「痛かった、苦しかったからもうやりたくないな・・・」など、様々なご不安があるかと思います。そういった不安の強い方には不安や緊張を和らげる『鎮静薬』を使って検査を受けていただくことをお勧めしています。また、痛みが心配な方には、痛みを和らげる『鎮痛薬』を使うこともできます。お気軽に担当の先生へご相談ください。

Q. 鎮痛薬と鎮静薬はどう違うの？

鎮痛薬は、痛みを和らげるための薬で、眠くはなりません。ボーっとすることがあります。

A. 鎮静薬は、不安を和らげるための薬で、使うと眠くなりウトウトした状態で検査を受けることとなります。

Q. 希望すれば誰でも使えるの？

A. 疾患、年齢によっては使えない場合もありますが、まずはご相談ください。

Q. 併せて使えますか？

A. どちらかの薬を使った後に、医師の判断で追加して使うこともできますのでご相談ください。



Q. お金はいくらくらいかかりますか？

A. 検査代+約 100 円程度です（3 割負担の場合）

今月の熱血医療人

Vol.2 「小児看護専門看護師」

～このコーナーでは専門資格を有している

熱血メディカルスタッフの方を紹介します～



井出 由美さん

Q. 『小児看護専門看護師』とはどのようなお仕事に携わっているの？

小児看護専門看護師は、病気だけでなくいろいろな心配事や不安、複雑な事情のある子どもとご家族に対する直接的なケアとともに、医療チームの調整や相談、スタッフへの教育・支援などの役割があります。

現在の所属は NICU・GCU ですが、関連する産科部門や小児医療センター、外来でも活動して、Child-& Family-Centered Care(子どもと家族中心のケア)を推進しています。また、子どもが生まれる前から穏やかな生活に至る過程にかかわらせていただき、子どもとの新たな生活に向けて、多職種や病院内だけでなく地域との関係機関と連携しています。時には、子育てしながら闘病される患者さんからのご相談（子どもへの親の治療に関する説明の仕方、親が入院中の子どもへの配慮など）に対応させていただいています。（全国に 166 名の小児看護専門看護師が活動しています）

Q. 患者さん・ご家族へメッセージをお願いします。



子どもが病気を持って生まれることや子どもが病気になることは、誰も予想しないことであり、ご家族も大きなショックを受けられと思います。そんな時、子どもとご家族のサポーターとして小児看護専門看護師がいます。何か困ったことがあれば、一緒に考え、お手伝いをさせていただきます。嬉しかったです。

防災訓練報告

平成28年9月1日(木)、昭和大学病院・附属東病院防災訓練が実施されました。本訓練は、東京都より指定されている災害拠点病院としての役割(災害発生時に24時間体制で被災した傷病者を受け入れる役割など)を担うべく、災害時の初動等に重点を置いて毎年9月上旬に実施されているものです。訓練想定は震度6強の東京湾北部直下型地震が午後1時に発生し、院内におけるエレベーターの停止、電気及び医療ガスの使用不可、その他の病院内の各種ライフラインは保たれているという状況下で行われました。発災後、事務部門に災害対策本部が設置され、病院職員は患者さんや自らの安全、周囲の安全確認を行い、部署ごとに被害状況報告書をまとめ、災害対策本部は情報収集・情報発信を行いました。



また今回、本訓練を実施するにあたり、品川区との連携訓練をおこないました。各救護所で品川区の職員、旗の台1丁目町内会、西中延2丁目町内会の方々と連携して患者搬送訓練などを実施し、実りある訓練となりました。その他にも病院内各部署の防災担当係、昭和大学医学部附属看護専門学校(164名)の学生に患者役として参加していただくなど多くの方々にご協力いただきました。ご協力、ご支援いただきました全ての皆様に心より御礼申し上げます。また、病院職員の方々には今後の防災における訓練等に対してもご理解と積極的な参加の程よろしくお願い致します。



【災害対策本部】
情報とりまとめの様子



【災害初療部門】
救命救急センター前で行われた
トリアージ中の様子

文責：管理課

旗の台一丁目祭禮報告

9月10日(土)、11日(日)の2日間、旗の台一丁目町会主催の「旗の台一丁目祭禮」が開催されました。昭和大学からも小口勝司理事長、板橋家頭夫昭和大学病院長をはじめとする25名の職員と学部学生、看護専門学校生の49名が参加し、地域の方々と一緒に神輿みこしを担ぎました。大人用、子ども用の神輿みこし、太鼓の神輿など3種類の神輿があり、みなさんで声を掛け合いながら神輿を担ぎ、地域の方々と楽しく交流を深めることができました。今後もこの様な交流を大切に、地域の活性化につなげていきたいと考えています。



大人神輿を担ぐ学生たち



小口理事長(右上)、板橋昭和大学病院長(左上)と学生たち

文責：管理課

院内コンサート報告

8月26日(金)東病院3階ディールームにおいて第19回院内コンサートを開催いたしました。窓越しに広がる青い空に吸い込まれるように演奏が流れ、いつもは好評の合唱も「いらなかった」という声があったほど、すべてがひとつになったひとときでした。特別ゲストの河村東病院長にもジャズの注文があるなど参加者が積極的に楽しんでおられたことが伝わってきます。(参加者43名、職員9名)

奏者：バイオリン 榑 ゆかりさん 南 香寿美さん

ピアノ 青柳志保さん

特別ゲスト 河村 満東病院長(オーボエ)

演目：花のワルツ、唇は語らずとも&ヴィリアの歌、鏡のカノン、

オブリビオン、トリオソナタ、

皆で歌いましょう♪/小さな竹の橋の下で、浜辺の歌、ふるさと

参加された方の声

- よく聴いていた「花のワルツ」や、昔観た「メリーウイドウ」のオペレッタを思い出し、懐かしかったです。トリオソナタ素敵でした。
- 河村先生のジャズも聞きたいです。退屈な入院生活が楽しく過ごせました。
- とても癒されました。もう少し明るい曲もききたいな。入院中に楽しみがあるのは、とても嬉しいです。有難うございました。



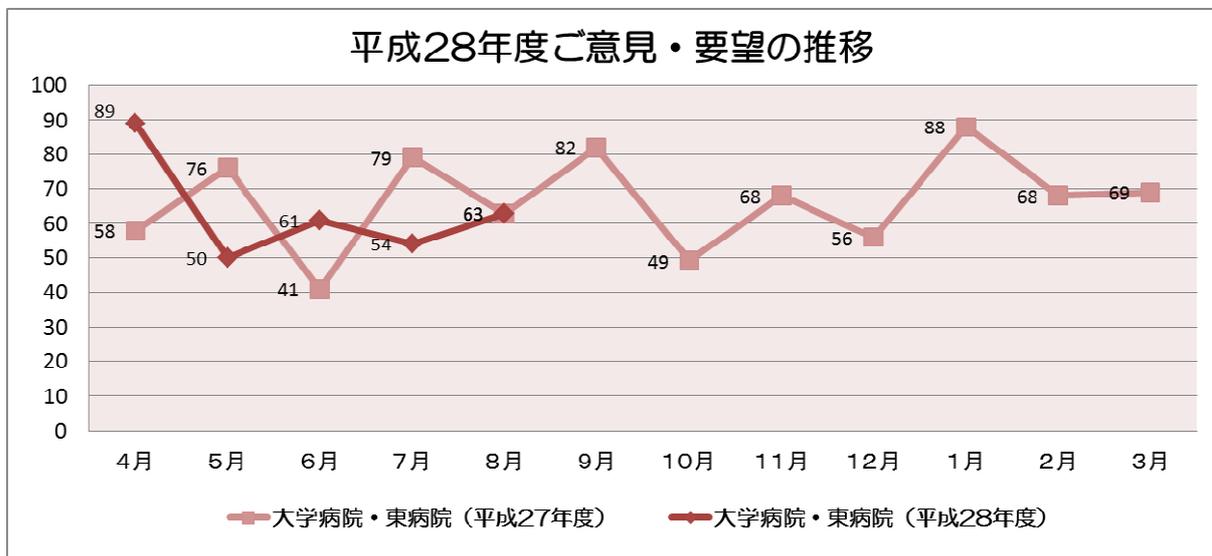
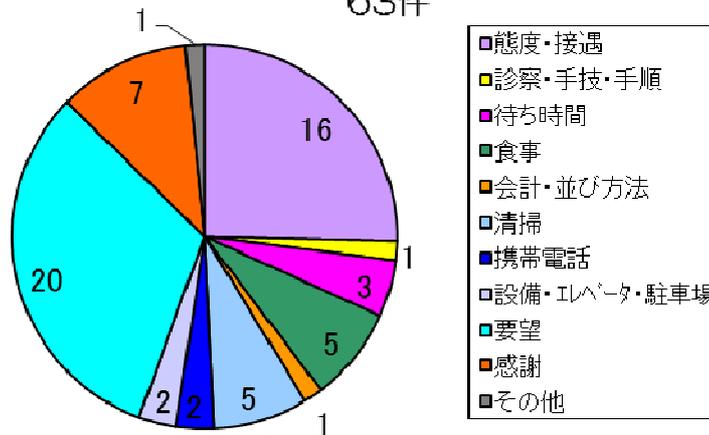
院内コンサートの様子

文責：管理課

患者さんのご意見・要望

| ご意見・要望 | 回 答 | 回答部署 |
|--|--|------------|
| <p>外来会計後に急に具合が悪くなってぐったりしていたところ、すぐに事務の方が気付いて声をかけてくれ、マスクをくれたり、主治医に連絡をとってくれたり、医師が来るまでずっと励ましたりしてくれました。心細くなりかけたところ、とても安心しました。医療行為はできなくても事務員としてできる範囲で安心させてくれた皆さんありがとうございました。</p> | <p>この度は、お褒めの言葉をいただきありがとうございました。医療行為ができない私たちにとって、患者さんに少しでも安心して受診されるお手伝いできたこと大変うれしく思います。今後とも、このようなお言葉をいただけるよう努めてまいります。</p> | <p>医事課</p> |

平成28年8月
ご意見・要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
63件



各種お知らせ

・第20回院内コンサート

日時：平成28年10月28日（金）15:00～15:30

場所：東病院3Fダイルーム

内容：ギター弾き語り ZUCCO（吉田 和子）

演目：未定



編集後記

東病院と中央棟とを一日に何回も往復するのは大変です。特に雨や風の時は辛いです。しかし、楽しいこともあります。会議に行く途中で、知っている学生さんや職員の方とばったりお会いすることがあります。患者さんとも、ご家族ともお会いします。昨日は、何年もお会いしていなかった方と、偶然出会って会話が弾み、宝物にしたいようなお話が伺えました。この文章を書き終えて、これから中央棟に向かいます。嬉しい出会いをまた期待したいと思います。

河村 満

昭和大学病院・附属東病院の理念

- ・患者さん本位の医療
- ・高度医療の推進
- ・医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- ・患者さんが受診しやすい、患者さんのQOLを重視した、質の高い医療を提供する。
- ・地域医療機関との連携を推進し、特定機能病院としての医療を担う。
- ・教育病院としての機能を充実して卒前・卒後の研修・実習および生涯教育を通して、質の高い医療人の育成を行う。
- ・生命倫理を尊び、科学的根拠に基づいた高度な臨床研究を実施する。

ご意見・要望につきましては、メールアドレス：tayori@ofc.showa-u.ac.jpまでお願いいたします。
病院広報委員会委員：荒川 千春、磯飛 雄一、大嶽 浩司、河村 満、佐藤 久弥、鈴木 隆、田中 克巳、
中村 清吾、平野 勉、間部 亮仁、結城 祐磨、吉田 仁、渡邊 聡（50音順）